

## 「孤立」から「つながり」、そして「支え合い」へ

関連する主な人権課題：高齢者

日本は、「超高齢社会」を迎えつつあります。一方で、社会の高齢化は、高齢者虐待や高齢者のいわゆる「孤立死」など、新たな問題を引き起こしています。

子どもから高齢者まで、様々な世代が支え合い、共に豊かで幸せに暮らせる社会の実現に向けて、何が大切なのかを考えてみましょう。

### ●研究課題

(1) 高齢者に対する固定的な見方（ステレオタイプ化された意識）が、偏見や差別につながっていないか、点検してみましょう。

#### 【ポイント】

- ・「高齢者は…である」という固定的な見方を集めてみましょう。
- ・高齢者虐待など、高齢者に対する人権侵害の背景について話し合ってみましょう。

(2) 高齢者の自立や社会参加などを支援する取組について調べてみましょう。

#### 【ポイント】

- ・高齢者の豊かな経験や知識を活かす機会や役割について話し合ってみましょう。
- ・高齢者とかかわる仕事や高齢者支援に役立つ資格を調べてみましょう。

### ●活動課題

(1) 地域の高齢者向け施設や高齢者大学を訪問してみましょう。

#### 【ポイント】

- ・夢や生きがいなど、高齢者の思いや願いを聞いてみましょう。
- ・聞き取った内容をもとに、高齢者が住みやすい地域社会をつくるためのアイデアを出し合って、提言書を作ってみましょう。

(2) 地域の高齢者向け施設や支援組織などで、ボランティア活動に参加してみましょう。

#### 【ポイント】

- ・介護や介助の心構えや基本的な技術を身に付けましょう。
- ・認知症サポーターなど、支援活動を行っている人から体験談を聞いてみましょう。

### ●ケーススタディ

記事を読んで、感想を話し合ってみましょう。

#### 高齢者連載「好齢者たち」～長寿社会を生きる～ 第5部 生きがい探し ステージ 浴びる脚光 人生の妙薬

「バンザーイ」。人気バンドの曲に合わせ、50歳以上の「素人」たちがジャンプした。息が上がり、時に足がもつれるが、へこたれない。ミュージカル劇団「発起塾」。来年2月に公演を控え月2回、神戸校の塾生約10人が、1回2時間のレッスンに集まる。

現在、メンバー全員が女性。最年長の税理士三浦康子さん（84）＝神戸市北区＝は「長年、がむしゃらに働いてきたけど、今はレッスンの日をたぐり寄せる思いで待ってますねん」。発起塾は1999年に大阪で生まれ、今では全国8カ所に拠点がある。2000年の神戸校発足当時から在籍している浮田梢さん（65）＝尼崎市＝は「指導が厳しくても、せりふに詰まって恥ずかしくても、やめられない」と、仲間を引っ張る。

公演の台本は配られたばかり。劇団員の年末年始は「芝居一色」となりそうだ。

シニア劇団が活況を見せている。06～07年ごろに急増し、全国で60を超えるという。「シニア演劇web」を運営するフリーライター朝日恵子さん（48）＝大阪市＝は「昔かじっていた人もいるが、全くの未経験者が6割。自分を変えたいという気持ちの人が多い」。生涯学習や介護予防など、さまざまな側面があり、積極的に取り組む自治体もある。市民講座から生まれた大阪府箕面市の劇団は来年6月、アメリカ公演を予定。同年秋には同市などが、全国初の「国際シニア演劇フェスティバル」を計画している。

朝日さんが言う。「家族や社会のために生きてきた人たちが、文字通り脚光を浴びる。そこに拍手を送られることで、吹っ切れるものがある」

ステージそのものが、人生の「妙薬」となる。

スポットライトの中の高齢者たちは、音楽の世界でも健在だ。

週末の神戸・三宮。こぢんまりした地下のジャズバーでは、60～70代が中心の大御所「ザ・ビッグ・ディッパーズ」が隔週で出演している。

結成は47年前。「仕事より長く続けるとは思わなかった」とリーダー龍田季彦さん（70）＝神戸市長田区。震災後、鮮魚店はたたんだが、月2回の練習、数回のライブは欠かさない。

「同じ歌うんやったら、一生懸命やって、ハートにしみるような音楽をしたい」とは、ボーカルの石井順子さん（71）＝同市兵庫区。「80歳になっても今の高いキーを保ちたいわね」

ステージから、心地よい音色と軽妙なトークが放たれる。「好きなこと言うて、好きなようにやってる。これがディッパーズのええとこなんや」と常連客。ホールが一体感に包まれた。

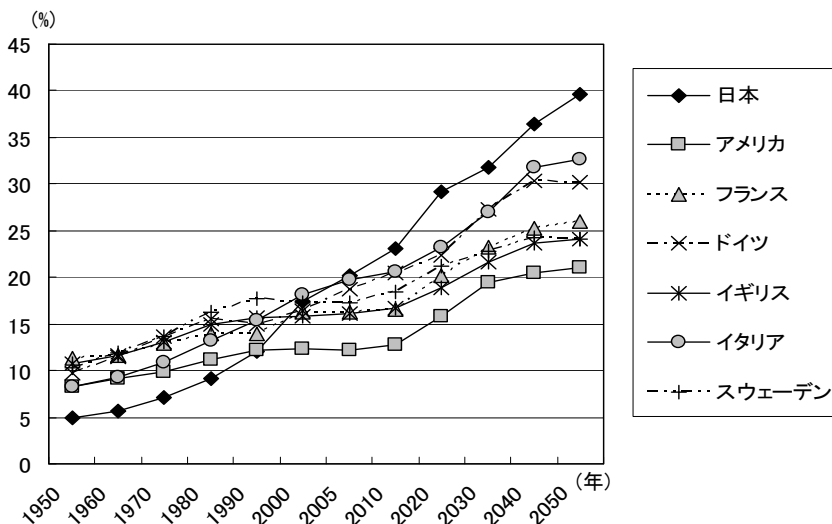
（神戸新聞 平成21(2009)年11月13日付から）

## ●チェック・シート

高齢者に関する知識をチェックしてみましょう。

- 65歳以上の人の家庭の20%以上が、単独世帯である。
- 高齢者の半数以上が、過去1年間に地域活動に参加した経験がある。
- 家庭における高齢者虐待では、被虐待者の大半が女性である。
- 高齢者の勤労意欲は高く、65～74歳の30%以上が何らかのかたちで就労している。
- 近年の国民医療費のうち、高齢者の医療費は50%を超えている。

## ●主要国の65歳以上人口の割合（1850～2050年）



（「人口統計資料集 2009」国立社会保障・人口問題研究所より作成）

## ●「高齢運転者運転標識」（高齢運転者運転マーク）

もみじマーク	四つ葉マーク
<p>普通自動車を運転することができる免許を受けた年齢が70歳以上の人で、加齢に伴って生ずる身体機能の低下が自動車の運転に影響を及ぼすおそれのある人が表示する努力義務とされている。平成23(2011)年2月から、どちらの標識も使用ができる。</p>	

（警視庁）

## ●オレンジリング



（認知症介護研究・研修センター）

## ●関係機関等

- (1) 内閣府 政策統括官（共生社会政策担当）  
<http://www8.cao.go.jp/souki/index.html>
- (2) 財団法人 長寿社会開発センター  
<http://www.nenrin.or.jp/>
- (3) 財団法人 兵庫県生きがい創造協会  
<http://www.h-ikigai.com/ikigai/>
- (4) 兵庫県社会福祉協議会  
<http://www.hyogo-wel.or.jp/index.html>

## キーワード解説

### ▼ 孤立死

孤立死の確立した定義はないが、「平成22年度版高齢社会白書」（厚生労働省）においては、「誰にも看取られることなく息を引き取り、その後、相当期間放置されるような」事例を「孤立死（孤独死）」としている。

### ▼ 認知症

脳や身体の疾患を原因として、記憶・判断力などの障害がおり、普通の社会生活がおくれなくなった状態と定義されている。認知症の初期症状で最も多いのは「もの忘れ」であるが、その他、意欲・自発性の低下（やる気がおこらないなど）や、うつ症状、言葉の障害、注意力低下などがみられることもある。

### ▼ エイジレス・ライフ

高齢者が年齢にとらわれず、自らの責任と能力において自由に生き生きとした生活を送ること、また、社会とのかかわりを持ち続けながら、楽しく充実した生活を送ること。

### ▼ 限界集落

過疎化などで65歳以上の高齢者が過半数を占め、集落の自治、生活道路や山林の維持管理、冠婚葬祭など共同体としての機能が衰え、消滅が危惧される集落をさす。

### ▼ 高齢化率

総人口に占める高齢者の割合をいう。世界保健機関（WHO）の定義では、65歳以上の人を高齢者としている。一般に高齢化率7%～14%を「高齢化社会」、14%～21%を「高齢社会」、21%を超えると「超高齢社会」とされる。

### ▼ 高齢者虐待の防止、高齢者の養護者に対する支援等に関する法律

〔平成18（2006）年〕

高齢者虐待を「高齢者が他者からの不適切な扱いにより権利利益を侵害される状態や生命、健康、生活が損なわれるような状態に置かれること」と捉えたうえで、高齢者虐待を次のように定義している。

- ① 身体的暴力による虐待
- ② 性的暴力による虐待
- ③ 心理的障害を与える虐待
- ④ 経済的虐待
- ⑤ 介護等の日常生活上の世話の放棄、拒否、怠慢による虐待

### ▼ 高齢者のための国連原則

〔平成3（1991）年〕

基本原理として次の5つを規定し、各国政府が自国プログラムに取り入れるよう奨励している。

- ① 自立…高齢者は収入や家族・共同体の支援及び自助努力を通じて十分な食料、水、住居、衣服、医療へのアクセスを得るべきである。
- ② 参加…高齢者は社会の一員として、自己に直接影響を及ぼすような政策の決定に積極的に参加し、若年世代と自己の経験と知識を分かち合うべきである。
- ③ ケア…高齢者は家族及び共同体の介護と保護を享受できるべきである。
- ④ 自己実現…高齢者は自己の可能性を進展させる機会を追求できるべきである。
- ⑤ 尊厳…高齢者は尊厳及び保障を持って、肉体的・精神的虐待から解放された生活を送ることができるべきである。